

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2026年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行われる。

2 競技場の入退場について

- (1) 競技場への入退場は競技場南東ゲート(バックストレート側)を使用すること。選手以外はグラウンド内に入らないこと。
- (2) 走路の使用方法は状況により変更する場合がある。競技役員の指示に従うこと。
- (3) 更衣は、スタンド下にある更衣室を利用する。ただし、更衣のみに使用し、控え場所としては使用しないこと。
- (4) 救護本部はスタンド1階医務室に設置する。
- (5) チーム関係者・保護者はスタンドで観戦できる。入退場はスタンド外側の階段を使用すること。

3 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップ場として、多目的広場(人工芝)を使用できる。ただし、スパイクの使用はできない。
- (2) 競技中も競技の進行に支障がない範囲で競技場内を使用できる。競技役員の指示に従うこと。競技を実施していない直走路を流しやダッシュで使用するときは、競技会で使用している方向(逆走)で走ること。牽引ロープやチューブの使用は禁止する。

4 競技者の招集について

- (1) 招集所は、第1コーナー付近倉庫に設ける。
- (2) 招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	40分前 ※棒高跳 70分前	30分前 ※棒高跳 60分前

(3) 招集の手順について

- ① 競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、点呼を受けること。その際、競技役員にアスリートビブスの確認を受ける。(携帯電話や通信機器及び音楽再生機器等は競技場所へは持ち込めない)
- ② 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものととして処理する。

5 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは配付されたままの大きさをユニフォームの胸・背部に確実につける。跳躍種目は胸部または背部のみで良い。
- (2) 1000m以上の種目及び逆走の場合の直線種目に出場する競技者は、招集時に腰ナンバー標識を貸与する。終了後直ちに係に返却すること。ランニングパンツ右の上部や後方につけること。また直線種目を逆走で実施する場合も腰ナンバー標識を貸与する。逆走の場合は、ランニングパンツの左の上部や後方につけること。

6 競技運営について

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- (2) コンディションにより直線種目をバックストレートで逆走を実施する場合がある。実施の有無については、関係役員で協議し、該当種目開始時刻の90分前をめどにアナウンスで発表する。逆走の場合、左手から1レ

ーンとする。

(3) 予選におけるトラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、主催者が公平に抽選し、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の決勝は、主催者が公平に抽選し、決定する。

(4) レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンは空ける。

(5) 掲示方法は写真判定(1/100秒)とする。タイムによる決勝進出者の決定について、同記録(1000分の1)があり、レーン数が不足するときは、抽選(競技規則TR21)を行う。該当者は、抽選を連絡するアナウンスから10分以内に本部へ集合する。

(6) 400m までのレーン使用の競技では、フィニッシュ後も安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走り、減速し止まること。バックストレートで競技を行う場合は、そのまま直走路を走り減速すること。

(7) 本競技会は、不正スタート1回失格を適用する競技会として実施する。(競技規則 TR16.7)

(8) スタートの合図は英語とする。〔「On Your Marks」「Set」〕

(9) 三段跳の踏切版の位置は、男子10m、女子9mとする。(天候などにより変更する場合がある)

7 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8
男子走高跳	1.50/1.70	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	以降 3cm
女子走高跳	1.30/1.50	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.63	以降 3cm
男子棒高跳	フリー	2.80	3.00	3.20	3.40	3.50	3.60	3.70	以降 10cm
女子棒高跳	フリー	2.00	2.20	2.40	2.60	2.70	2.80	2.90	以降 10cm

練習の高さを2段階に設定し、希望により実施できるものとする。競技者は、その時間内で競技役員の指示のもと自由に練習してよい。

① 走高跳・棒高跳は、最後の1人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。

② 第1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cm きざみとする。

8 用器具について

(1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使用する。ただし、棒高跳のポールに限り個人所有のものを使用することができる。

(2) フィールド競技では、主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個使用できる。走高跳のマーカーは各自でテープを準備すること。

9 表彰について

(1) 各種目の入賞者には賞状を授与する。

(2) 表彰式は1位～8位入賞者に対して行うので成績発表後、スタンド1F中央出入口前に集合すること。

10 商標について(商標は「競技会における広告及び展示物に関する規定」による)

(1) 競技場内に商標名の付いた衣類・バッグ等を持ち込む場合、以下の規定を守ること。

① 上半身の衣類・・・製造会社のロゴ: 大きさは四角形の面積 40 cm²以内、文字は高さ 5 cm以内、長さ 10 cm以内とする。製造会社の表示は1ヶ所のみとする。ただし、トレーニングウェア上衣、T シャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名/ロゴ面積は 40 cm²以内とする。

② 下半身の衣類・・・製造会社のロゴ: 大きさは四角形の面積 40 cm²以内の長方形、文字は高さ 5 cm以内、長さ 10 cm以内のものを1ヶ所とする。

③ バッグ・・・製造会社のロゴは、1ヶ所に取り付けることができる。面積は 40 cm²以内のものとする。

(2) 競技役員に指摘された場合はその指示に従う。

11 競技用シューズの規定について

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とし、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4mm四方以内でなければならない。スパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) 使用するシューズについては、競技規則TR5.2を適用する。
- (3) サークルで実施する投てき種目の靴底の厚さ規定は除外された。2026年4月10日～
- (4) 規定外シューズ使用者の扱いについては「失格扱い」とする。
競技前に確認した場合は、そのシューズの使用を認めない。競技後に規定外のシューズの使用が確認された競技者は、失格扱いとする。

12 その他

- (1) 記録の発表については、アナウンスと大型映像で発表する。記録速報のQRコードでも確認できる。
QRコードは、愛知陸上競技協会のHP、大会中の競技場スタンドなどで掲示している。
なお、記録発表のアナウンスが行われた時刻を正式発表の時刻とする。
- (2) チームの待機場所は、陸上競技場内の許可された場所のみ(別図参照)とする。その他の場所は禁止する。**
- (3) 救護本部は競技場1F 医務室に設置する。
- (4) 選手はスタンド1Fの更衣室を使用できる。更衣のみに使用し、荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は、各自で管理する。
- (5) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任もって行い、環境美化に努める。
- (6) 氏名・所属等の訂正は、本部に申し出る。
- (7) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。

アスリートへの盗撮は、犯罪です。愛知陸上競技協会主催の大会では、撮影対象となる選手の家族や選手本人の了解がある場合を除き、写真や動画の撮影を禁止しています。禁止行為を発見した場合、ただちに警察へ通報します。また役員や警備員が会場内外の巡回を行っています。撮影を行っている方には確認を行う場合があります。ご理解とご協力をお願いします。

※全国大会(U16陸上競技大会)の都道府県代表の資格を得た選手及び標準記録を突破している学校の顧問の先生、各所属の代表者は、全国大会受付(スタンド1F・正面出入り口からお入りください)で担当より説明を受けてください。